

■伊勢貞親 室町幕府政所執事。伊勢流を創始した有職故実家。

いせさだちか

・・・・・・1417＝ 桓武平氏の流れを汲む室町幕府政所執事伊勢貞国の子に生まれる。母は蝸川親俊の娘。弟に貞藤。

馬借京乱入・1426＝ 9歳：

義教織引將軍1428＝11歳：

・・・・・・1435＝18歳：伊勢氏の政所代務める蝸川氏の娘を妻とし、
・・・・・・1436＝19歳：この年、誕生した足利義政を養育，

嘉吉の乱・1441＝24歳：

対馬嘉吉約条1443＝26歳：管領畠山持国の仲介で義政と擬似父子関係を結ぶ。
・・・・・・1444＝27歳：子貞宗が誕生。

足利義政將軍1449＝32歳：この年、足利義政が8代將軍となる。

・・・・・・1453＝36歳：
享徳の乱始・1454＝37歳：*家督を相続。分一銭制度の確立などを通じて幕府財政の再建を成功させ、義政の信任を得る。

・・・・・・1460＝43歳：*政所執事に就任。義政の信頼厚く、禅僧季瓊真菴と共に政務の実権を握る。

寛正大飢饉終1462＝45歳：

・・・・・・1465＝48歳：義政の正室日野富子が男子義尚を産むと、義尚の乳父となる。この頃問題となっていた斯波氏の斯波義敏と斯波義廉の家督争い(武衛騒動)に介入し、
・・・・・・1466＝49歳：同志と、義政に進言して斯波家家督を義敏に与えさせるが、山名持豊や義敏派であった細川勝元らが義廉支持に回り、敵対。また、義尚の誕生によって、次期將軍に決定していた義政の弟足利義視と義尚の間で將軍後継問題が発生すると、義尚の乳父であった貞親は、義視を排斥するために義視謀反の噂を流すが、義視が勝元を頼ると讒訴の罪を問われ、近江へ逃れ、真菴や義敏、赤松政則ら貞親派とされた者も失脚(文正の政変)。貞親ら側近勢力こそが義政の政權運営を支えた中核的存在であり、側近勢力の排除が義政の政務放棄の一因となったとする見方もある。

応仁の乱始・1467＝50歳：*応仁の乱が起こると、義政に呼び戻され復帰。のちに、応仁の乱の原因を作った1人とも言われ、賄賂を横行させ淫蕩に戯け、幕府の治世を腐敗させた悪吏として指弾されたり、'世の中は 皆歌謡に 業平の 伊勢物語 せぬ人ぞなき'という落首が伝わる。

蓮如吉崎御坊1471＝54歳：出家して政務を引退し、

・・・・・・1472＝55歳：妻の死去後、

足利義政隠居1473＝56歳：子の貞宗に対して「伊勢貞親教訓」を残して、没した。